

# 第4回 庄内地区ワークショップ

本日のワークショップの進め方



# 前回の振り返り

## 第3回ワークショップ（11月6日）

- 第2回WSで、各班で選んだ3つの取組案について、具体化するために決める必要があることを議論

→事務局で質問を用意し、それに沿って話し合いを進めました

本日お配りした「庄内地区  
第3回ワークショップまとめ」  
に、出された意見を整理しま  
した。



# 話し合いで出された意見をもとに、 取組案を整理してみました

全体で、15の取組案（5班×3案）について話し合いを行っていただきましたが、出された意見をもとに、取組案を集約していくと、5つのテーマに集約されるのではないかと思います。

テーマ		関連する取組案	班
1	庄内地区の魅力発信	「田の神さあ」のすごさを広める	1
		動画配信（PR活動）	4
2	観光で人を呼び込む	関之尾の滝下に高千穂みたいなボートを置き、自然を活かしたアスレチックをつくる	2
		アウトドアの拠点（オートキャンプ場）を目指す	3
		関之尾を核に観光産業を興していく	4
3	地区内住民の交流の場所・機会をつくる	地域の人が育てる野菜、服など自由に出し合える場所づくりをする	1
		小学校・幼児の学習支援	2
		高齢者が小学校の子ども会を企画してあげる	3
		子どもと高齢者が集える場所を設置し、高齢者と子育て中の親子とが交流できるようにする	4
		子どもたちの交流を進めるため、地区対抗競技を行う	5
		空き家の活用	5
4	移動支援	乗合車（タクシー）の運行（地域の各組織の連携活動）	1
		ふれあい号の増便	3
		ふれあい号の増便	5
5	地域活動への全員参加、負担軽減	一人一役で沢山の人に役目を与える	2

事前に、まちづくり協議会・市と、WSで出されているテーマについて、意見交換を行いました。

これまで話し合ってきたテーマには、行政側で検討が進められているものや、まちづくり協議会として取組んだほうがよいと思われるものが含まれていることから、各テーマについて、以下のように整理しました。

# 各テーマについて

## 観光で人を呼び込む

- 現在、市が委員会をつくって、関之尾を核とした観光に関する整備計画を検討中。  
→釘村会長、朝倉事務局長も委員で参加し、地元の意見を出しているところ
- 今年度末を目途にとりまとめが行われる予定。
- 今後、数ヶ月でハード整備も含めた計画がまとまるため、地元としてどう関わっていくかは、  
計画の内容、整備スケジュールが見えてから話し合ったほうがよいと思われる。

## 庄内地区の魅力発信

- 情報発信については、色々なアイデアが出されたところであり、庄内地区全体として、観光客や移住者などに向けた情報発信に取り組んでいくことが、必要であり、重要。
- 情報発信に当たっては、まちづくり協議会のホームページにリンクをはる等の方法も考えられるので、まち協が中心となって、興味がある方や動画作成が得意な方などを巻き込みながら進めていくのがよいと思われる。

## 移動支援

- 現在のふれあいバスは、ルートが固定された形態で運行されているが、道路運送法が改正され、エリア内での走行ルートを柔軟に変えられるようになった（デマンド運行）。
- まちづくり協議会も、法改正を踏まえ、市と相談しながら検討を進めているところ。
- 法律や制度に関する理解も必要となるため、WSにおいて、話し合いを深めていくことには**限界**がある。

## 地域活動への全員参加、負担軽減

- 各公民館内での話でもあると思われるため、WSでのテーマから一旦はずしてはどうだろうか？



全ての班から、関連する取組案が出されていること、また今後の高齢化・人口減少を踏まえ、『**地区内住民の交流の場所・機会をつくる**』について、残り2回のWSで話し合いを深めていきたいと思えます。

# 参考：庄内地区における将来の人口構造

庄内地区全体	2005年	2015年	2025年	2035年
A: 20～74歳人口 (人)	5,293	4,760	4,163	3,502
B: 75歳以上人口 (人)	1,230	1,421	1,364	1,353
75歳以上高齢者 1人を支える若い 世代の人数	4.3人	3.3人	3.1人	2.6人



乙房町	2005年	2015年	2025年	2035年
A: 20～74歳人口 (人)	1,802	1,718	1,573	1,469
B: 75歳以上人口 (人)	366	410	409	405
75歳以上高齢者 1人を支える若い 世代の人数	4.9人	4.2人	3.8人	3.6人

関之尾町	2005年	2015年	2025年	2035年
A: 20～74歳人口 (人)	649	567	511	437
B: 75歳以上人口 (人)	143	187	164	159
75歳以上高齢者 1人を支える若い 世代の人数	4.5人	3.0人	3.1人	2.7人

庄内町	2005年	2015年	2025年	2035年
A: 20～74歳人口 (人)	1,543	1,296	1,058	812
B: 75歳以上人口 (人)	445	485	450	414
75歳以上高齢者 1人を支える若い 世代の人数	3.5人	2.7人	2.4人	2.0人

菓子野町	2005年	2015年	2025年	2035年
A: 20～74歳人口 (人)	1,299	1,179	1,014	787
B: 75歳以上人口 (人)	276	339	342	376
75歳以上高齢者 1人を支える若い 世代の人数	4.7人	3.5人	3.0人	2.1人

# 本日話し合いたいこと (Step1)

各班における『**地区内住民の交流の場所・機会をつくる**』に関連する取組案について、

前回のWSで出された意見をもとに、さらに取組を具体的にするための質問を用意しました。

用意された質問について、話し合しましょう。

なお、各班最後の質問には「他に検討しなければいけないと思うことを書き出してください」とあります。用意された質問以外で考えなければいけないことを書き出してください。

# 『地区内住民の交流の場所・機会をつくる』に関連する取組案

班	取組案	質問
1 班	地域の人が育てている野菜、服など自由に出し合える場所づくりをする	<ul style="list-style-type: none"><li>野菜や服を出し合える場所に<b>どんな機能</b>を持たせますか？（物販のみ、高齢者や子育て世代のたまり場的な要素も持たせる？）</li><li>上記で考えた機能を持った場所として、<b>具体的な設置場所</b>はどこにしますか？候補となる場所の名前を（活用したい空き家があれば具体的な場所を）書いてください。</li><li>上記で挙げた候補地を使用する場合、それぞれ<b>誰と交渉</b>する必要がありますか？</li><li>前回のWSでは、物販は<b>常設が理想</b>だが、週1回程度といった<b>定期的な開催でもよいのでは</b>との意見が出ましたが、どうしますか？</li><li>野菜や服を<b>出品できる人</b>をどのように募りますか？</li><li>他に検討しなければいけないと思うことを書き出してください。</li></ul>

班	取組案	質問
2 班	小学校・幼児の学習支援	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="644 105 1997 279">• 小学生や幼児の学習支援を行う場所に<b>どんな機能</b>を持たせますか？（勉強を教えるのみ、高齢者や子育て世代のたまり場的な要素も持たせる？）</li> <li data-bbox="644 297 1997 462">• 上記で考えた機能を持った場所として、<b>具体的な設置場所</b>はどこにしますか？候補となる場所の名前を（活用したい空き家があれば具体的な場所を）書いてください。</li> <li data-bbox="644 539 1997 648">• 上記で挙げた候補地を使用する場合、それぞれ<b>誰と交渉</b>する必要がありますか？</li> <li data-bbox="644 711 1997 868">• 前回のWSでは、学習支援の<b>開催頻度は週 1 回</b>や<b>夏休み集中</b>という案が出ましたが、どうしますか？また、<b>何を教えますか</b>（まずできそうなことを考えてください）</li> <li data-bbox="644 899 1997 948">• 教える人をどう確保しますか？<b>協力してくれそうな方</b>を挙げてください。</li> <li data-bbox="644 999 1997 1048">• 生徒をどうやって集めますか？</li> <li data-bbox="644 1073 1997 1122">• 他に検討しなければいけないと思うことを書き出してください。</li> </ul>

班	取組案	質問
3班	高齢者が小学校の子ども会を企画してあげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• このような高齢者と子どもたちが日常的に交流できる場所を設けるとしたら、どこがよいですか？ 候補となる場所の具体的な名前を書いてください（活用したい空き家があれば具体的な場所を）。</li> <li>• 上記で挙げた候補地を使用する場合、それぞれ誰と交渉する必要がありますか？</li> <li>• 前回のWSでは、企画案として「昔の遊びを教える」「ミニ盆栽づくり」などの案が出来ましたが、他にどのような案が考えられますか？</li> <li>• それぞれの企画を行うには、誰かに協力してもらう必要がありますか（講師などで）？</li> <li>• 高齢者と子どもたちが交流できる場所を設けることと、子ども会の企画をやること、どちらに取組むのが良いですか？</li> <li>• 上記で選んだ取組を行っていく上で、他に検討しなければいけないと思うことを書き出してください。</li> </ul>

班	取組案	質問
4 班	子どもと高齢者が集える場所を設置し、高齢者と子育て中の親子とが交流できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="642 164 2005 349">• 交流できる場所に<b>どんな機能</b>を持たせますか？（たまり場的なスペースがあればよい？、飲食物なども販売？、子育て中の親が仕事ができるスペース？）</li> <li data-bbox="642 364 2005 549">• 上記で考えた機能を持った場所として、<b>具体的な設置場所</b>はどこにしますか？候補となる場所の名前を（活用したい空き家があれば具体的な場所を）書いてください。</li> <li data-bbox="642 621 2005 735">• 上記で挙げた候補地を使用する場合、それぞれ<b>誰と交渉</b>する必要がありますか？</li> <li data-bbox="642 749 2005 935">• 前回のWSでは、既存のNPO法人の活動ともリンクさせてはどうかとの案も出ましたが、このような<b>既存団体と協力</b>することで、<b>どのようなイベントや活動が、この場所で出来そう</b>ですか？</li> <li data-bbox="642 949 2005 1006">• 他に検討しなければいけないと思うことを書き出してください。</li> </ul>

## 5班で話し合う内容について・・・

- 5班では、「**地区内住民の交流の場所・機会をつくる**」に関連するテーマとして、2つの取組案（「**子どもたちの交流を進めるため、地区対抗競技を行う**」、「**空き家の活用**」）が前回WSで出されました。
- **日常的に交流**することや、**子どもたち以外の住民を含めた交流**という点から考えると、交流のための場所づくりに関する取組について話し合うのが良いのではないかと思います。
- そのため、5班では「**空き家の活用**」について話し合いを進めていきたいと思います。



班	取組案	質問
5 班	空き家の活用（サロン、みんなの食堂、子どもの遊び場など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空き家を活用して、そこに<b>どんな機能</b>を持たせますか？（高齢者が集まる場所？、高齢者も子どもも集まる場所？、飲食を提供する場所？）</li> <li>• 上記で考えた機能を持った場所として、<b>具体的な設置場所</b>はどこにしますか？候補となる場所の名前を（<b>活用したい空き家</b>があれば具体的な場所を）書いてください。</li> <li>• 上記で挙げた候補地を使用する場合、それぞれ<b>誰と交渉</b>する必要がありますか？</li> <li>• 他に検討しなければいけないと思うことを書き出してください。</li> </ul>

# 本日話し合いたいこと (Step 2)

候補となる場所を地図上に落としましょう。なお、多くの候補地がある班は、候補地を3つ程度に絞りこんでください。



また、それぞれの場所について、メリット・デメリットを考え付箋に書いてシールの近くに貼ってください。

# 本日話し合いたいこと (Step 3)

ここまでの話し合いを踏まえ、各班の取組案を、次のシートに示すような実行計画（模造紙）に落とし込んでいきましょう。

- ここまでに話し合った取組をいつスタートしたい・出来そうですか？それを、「目標を実現する時期」に書き込みましょう。
- これまでの議論を踏まえ、取組を実現するために、やることとして優先順位が高いもの5つを考え、それぞれの欄に貼って行って下さい。

# 模造紙のイメージ

1 班で考えた取組内容	地域の人が育てている野菜、服など自由に出し合える場所づくり
取組を実現する時期	1年後（2020年度）
優先順位	やること
1	候補場所の見学、内覧
2	場所を決める（所有者との交渉）
3	出品者募集のための地区説明会、出品者リストの作成
4	運営方法の検討
5	場所の改修などに関する行政との相談